

令和5年度「生徒・保護者共通アンケート」集計結果について

令和6年2月15日
宮城県仙台第一高等学校

1. 実施期間

令和5年11月14日(火)～令和5年12月4日(月)

2. 回答人数及び回答率

	生徒	保護者	教職員
回答数	758名	570名	58名
回答率	80%	60%	95%

R4 回答率 72% 69%

3. 調査内容(15項目)

下記(1)～(15)の項目について「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の4段階で回答していただいた。

- (1) 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている
(スクールポリシー)
- (2) 学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている (学習指導)
- (3) 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている (生徒指導)
- (4) 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている (進路指導)
- (5) 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている (教育相談)
- (6) 部活動は活発に行われている (部活動)
- (7) 生徒会活動は活発に行われている (生徒会活動)
- (8) 有意義な学校行事がある (学校行事)
- (9) 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる (特色ある学校づくり)
- (10) 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている (防災教育)
- (11) 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている (開かれた学校づくり)
- (12) 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている (施設設備)
- (13) 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる (いじめ対応)
- (14) 学校生活は充実している (総合満足度)
- (15) 生徒にとって、課題発見・解決能力や論理的思考力を伸ばすようなSSH活動が行われている (SSH)

(1)～(14)は全県共通項目 (4段階の選択肢も共通)、(15)は本項独自項目

4. 集計結果（データ）

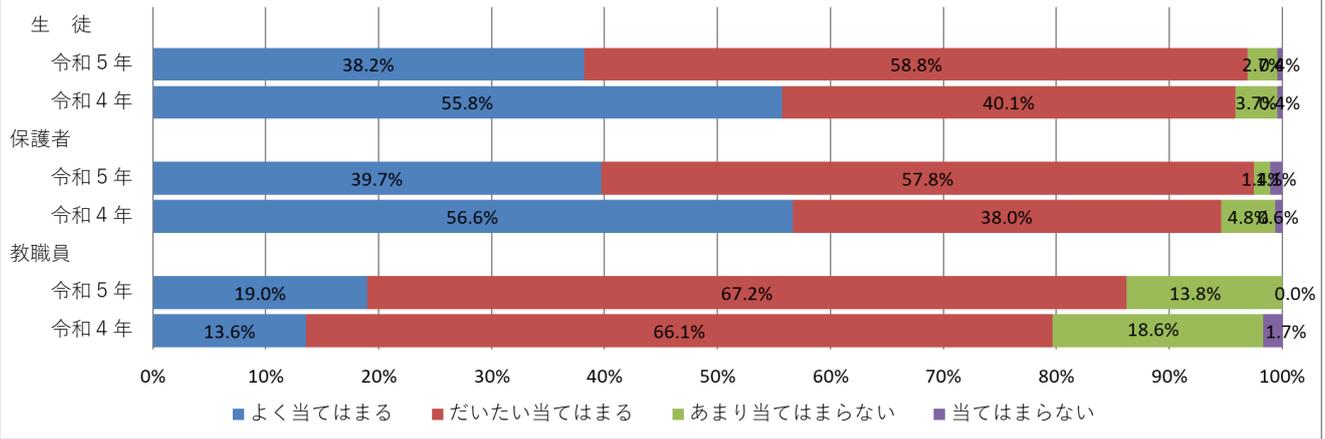
調査項目ごとの肯定的な回答（「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」）の割合、順位、前年度比較の増減値をまとめたものです。集計結果をグラフ化したものを次頁以降に掲載しております。

調査項目	生徒全体	順位	前年比増減	保護者	順位	前年比増減	教職員	順位	前年比増減
(1) スクールポリシー	96.9%	3	1.1ポイント	97.5%	3	2.9ポイント	86.2%	7	6.5ポイント
(2) 学習指導	91.7%	7	-0.5ポイント	90.4%	7	3.5ポイント	93.1%	3	-1.8ポイント
(3) 生徒指導	66.4%	15	8.7ポイント	74.6%	14	3.5ポイント	29.3%	15	2.2ポイント
(4) 進路指導	92.9%	5	-0.2ポイント	90.1%	8	1.6ポイント	84.2%	11	4.5ポイント
(5) 教育相談	82.3%	12	1.4ポイント	86.5%	12	1.6ポイント	84.5%	9	9.9ポイント
(6) 部活動	98.9%	1	1.4ポイント	97.9%	2	1.6ポイント	98.3%	2	3.4ポイント
(7) 生徒会活動	80.0%	13	5.2ポイント	87.4%	9	0.8ポイント	86.2%	7	-1.9ポイント
(8) 学校行事	97.5%	2	0.6ポイント	98.6%	1	1.7ポイント	98.3%	1	5.1ポイント
(9) 特色ある学校づくり	92.7%	6	3.5ポイント	97.0%	4	1.9ポイント	75.9%	12	6.4ポイント
(10) 防災教育	84.0%	11	0.5ポイント	78.4%	13	1.3ポイント	91.2%	4	4.8ポイント
(11) 開かれた学校づくり	87.7%	9	1.8ポイント	86.8%	11	3.1ポイント	74.1%	13	6.3ポイント
(12) 施設設備	84.8%	10	1.4ポイント	86.9%	10	0.5ポイント	67.2%	14	13ポイント
(13) いじめ対応	78.5%	14	6.9ポイント	68.6%	15	3.7ポイント	89.7%	5	3.2ポイント
(14) 総合満足度	95.8%	4	-0.1ポイント	96.8%	5	2.4ポイント	89.7%	5	-7ポイント
(15) SSHについて	89.2%	8	1.3ポイント	94.5%	6	2.2ポイント	84.5%	9	4.8ポイント

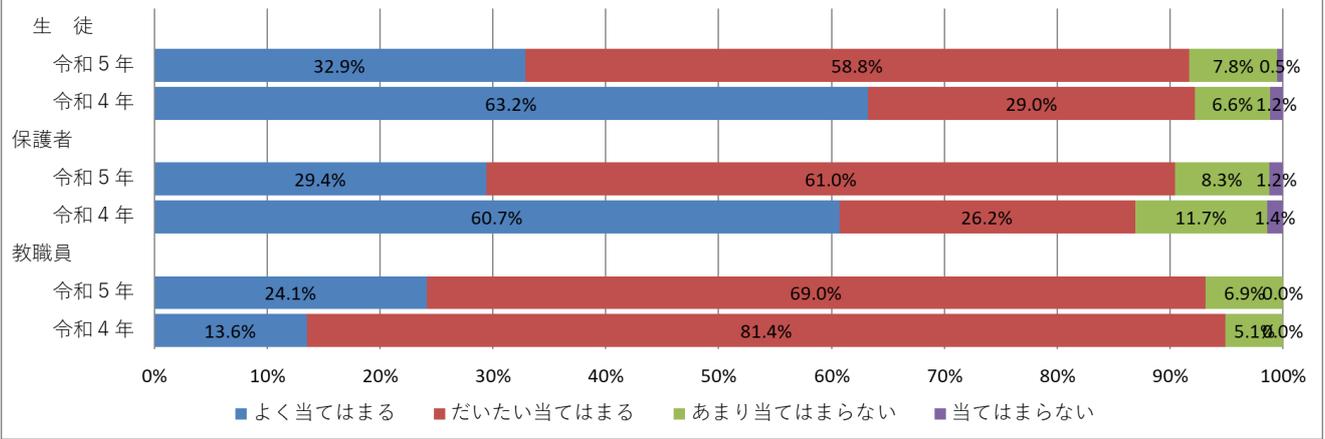
5. 集計結果（コメント）

- 保護者・生徒ともにグーグルクラスルームを活用してアンケートを実施した。回答率は、生徒が昨年より8ポイント上昇し80%となったが、3学年は昨年と同様回答率が低かった（1学年94%、2学年93%、3学年51%）。保護者は昨年度より9ポイント低下し60%であった。
- 肯定的回答の割合が高い項目に、「(6)部活動は活発に行われている（部活動）」「(8)有意義な学校行事がある（学校行事）」があり、それに伴い「(14)学校生活は充実している（総合満足度）」も96%前後の高い数値となっている。
- 肯定的回答の割合が低い項目は、「(3)挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）」である。例年と同様の結果ではあるが、昨年度に比べ生徒・保護者の評価は大きく上昇している。日常からの指導に加えLHRの討論会等の活動を通して、生徒自身が気づき実践しようとする意識が高まったからではないかと考える。自由記述の中にも、「生徒の自主性を育てる校風」との肯定的な意見がある一方で、「学校の体制が男子校のまま」「時代やニーズに合わせて形を変えていくべき」との指摘もいただいた。生徒の自主性を今後も大切にすることはもちろんではあるが、さらなる改善に向けて取り組んでいきたい。
- 昨年比で肯定的回答の割合が3ポイント以上高まった項目は、生徒・保護者ともに4つ、教職員は9つとなっている。新型コロナウイルスの感染症状の位置づけが5類に移行し、生徒の活動の幅が広がったことが大きいものと考えられる。このうち三者ともにポイントが上昇している項目は「(13)学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる（いじめ対応）」である。年4回の調査を通じて実態把握に努め、学年団と生徒指導部、保健厚生部が緊密に連携し、組織として対応をしてきた結果ではないかと考える。より一層の充実を目指して丁寧な目配りや面談などの対応を心がけたい。
- 昨年比で肯定的回答の割合が3ポイント以上低くなった項目は、生徒・保護者ともにゼロであった。教職員は「(14)総合満足度」が低下している。「生徒への課題やSSHの取組が生徒にとって負担になっているのでは？」との指摘があった。
- 保護者の自由記述回答数は、1年生が18件、2年生が16件、3年生が14件であった。
- 「自分の目標に向かって努力でき、また自分に誇りを持てる環境がある」「高校生活の中での成長は著しかった」「一高に通うことで他の進学校では得られない貴重な出逢いや経験を積み、本人だけではなく保護者としてもいろいろな学びを得た」など肯定的な意見が多くあり、今後の励みとしていきたい。
- 一方で、授業のあり方に対する厳しい指摘、部活動に関する要望、応援練習のあり方への疑問、施設設備の改善を求める意見など、意見や要望を多くいただいた。今後対応を検討していきたい。

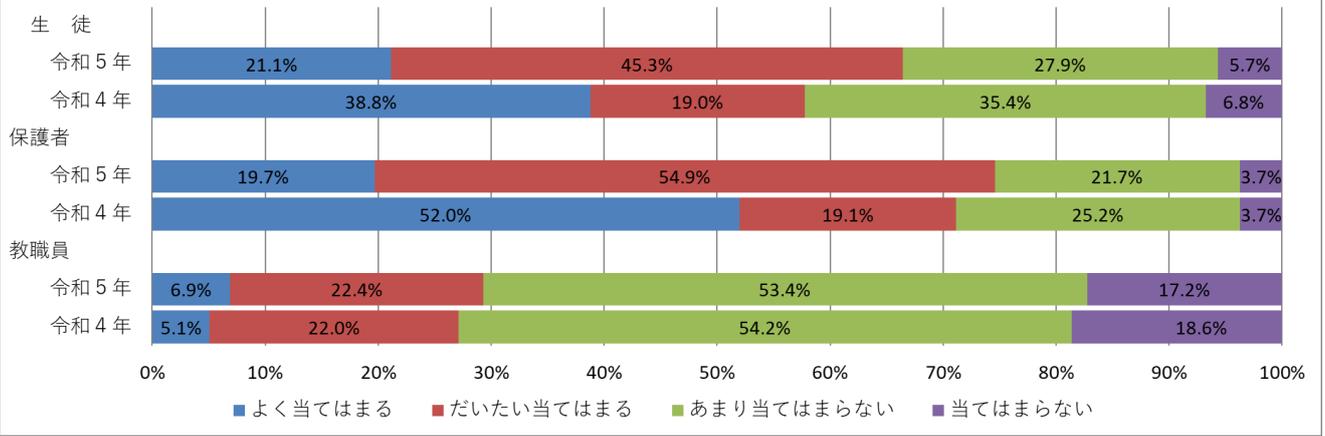
1 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている



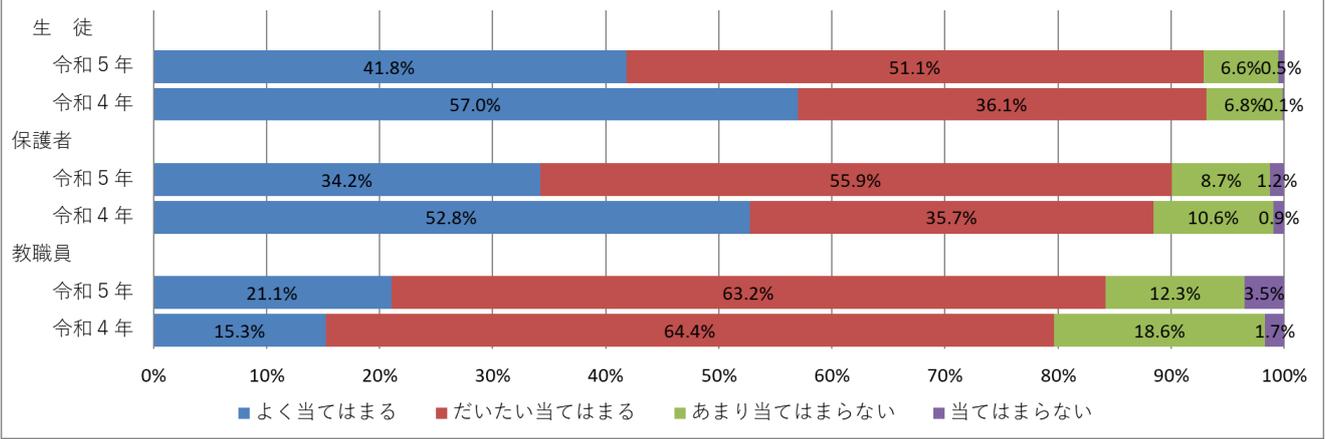
2 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている



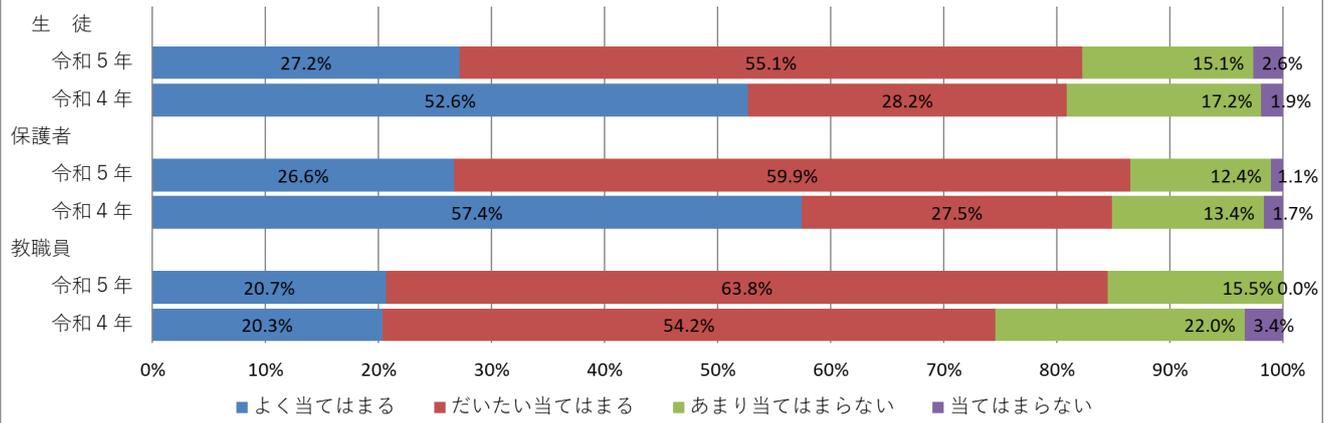
3 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている



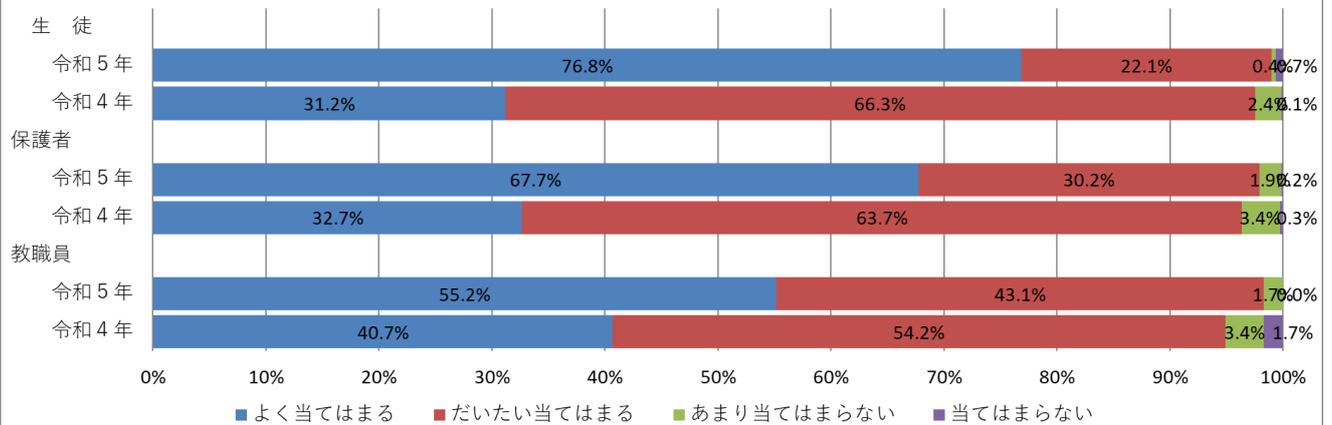
4 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている



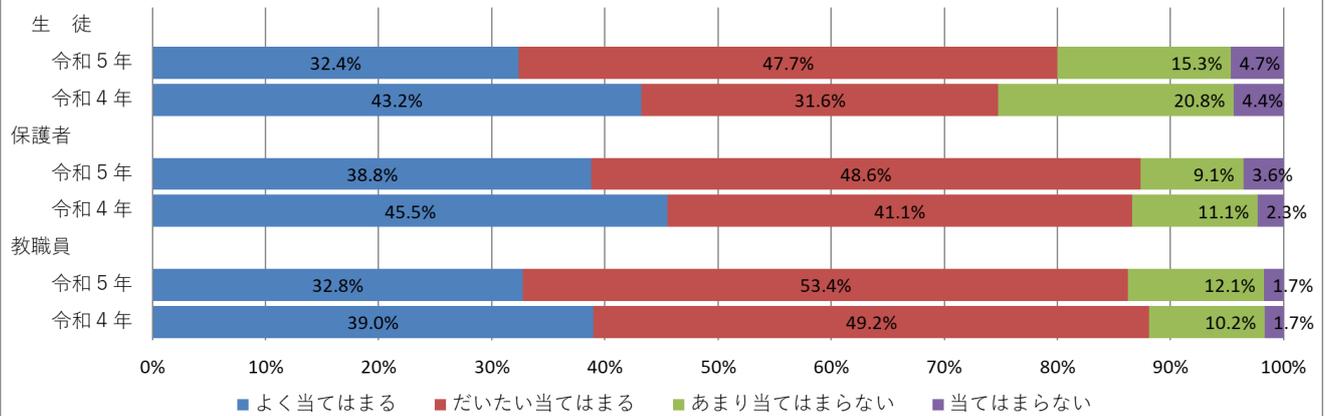
5 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている



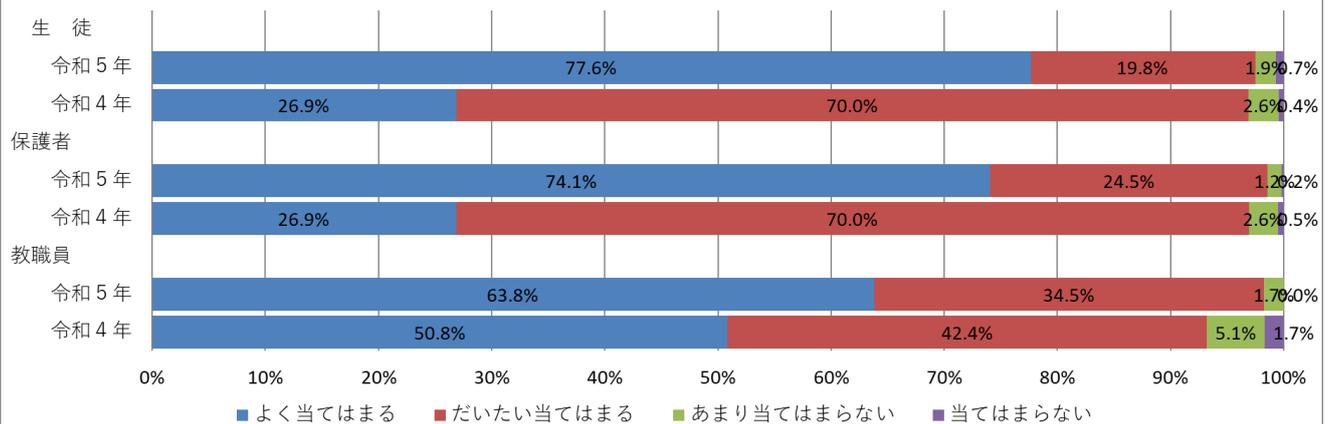
6 部活動は活発に行われている



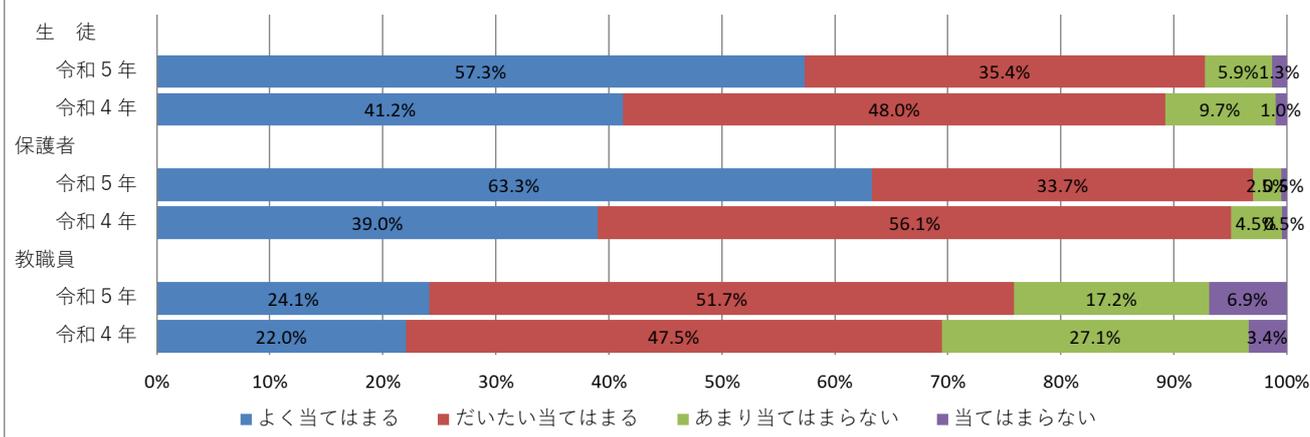
7 生徒会活動は活発に行われている



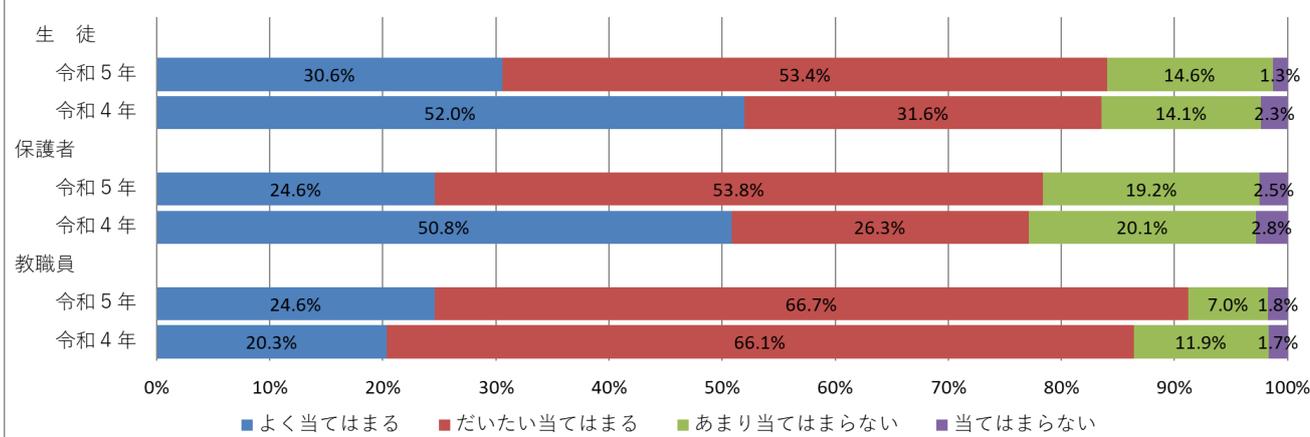
8 有意義な学校行事がある



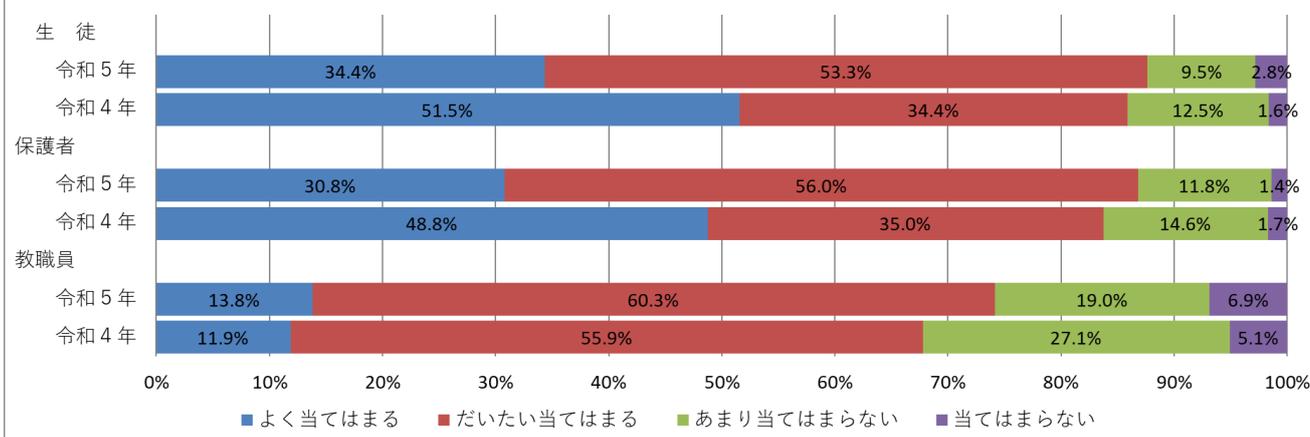
9 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる



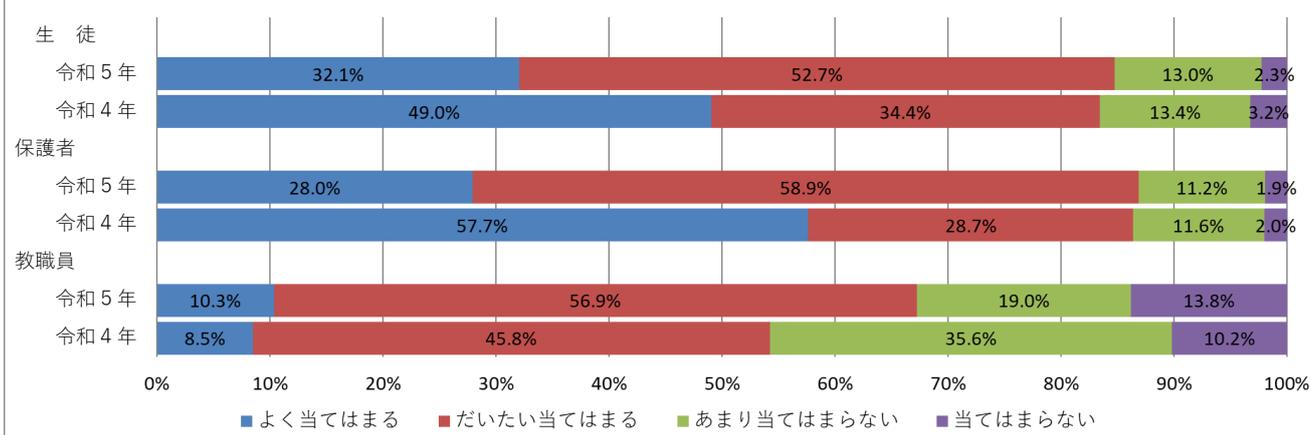
10 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている



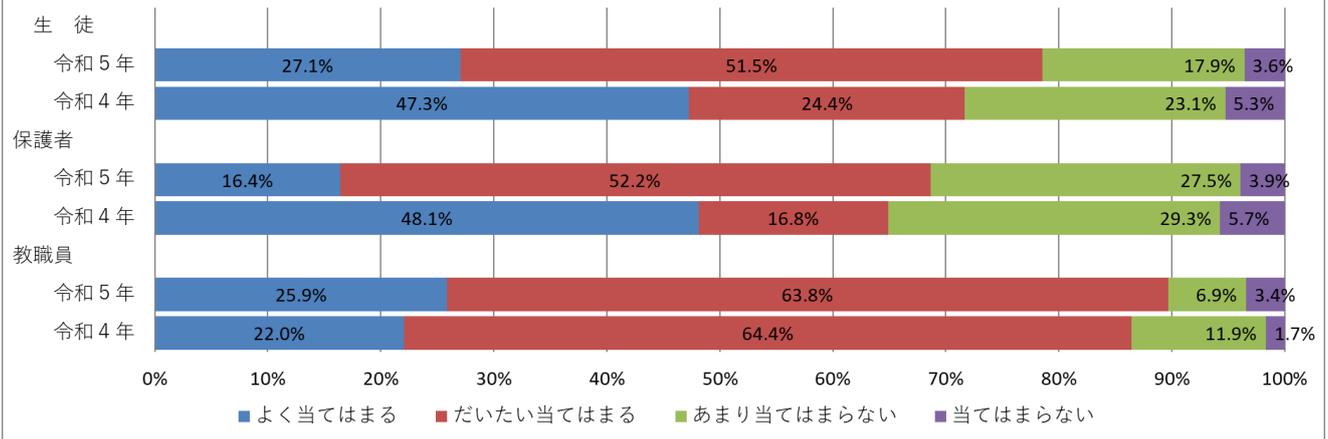
11 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている



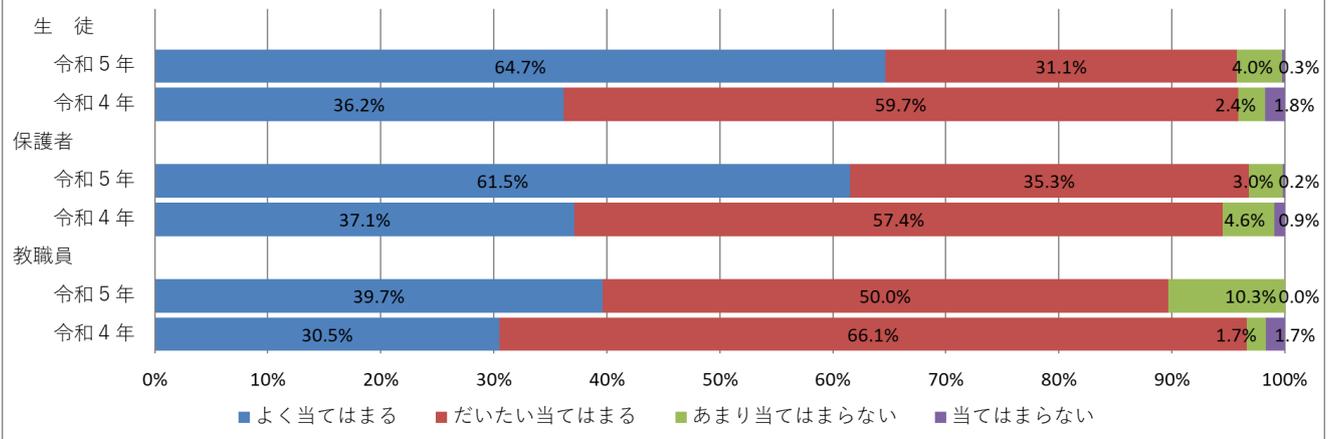
12 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている



1 3 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる



1 4 学校生活は充実している



1 5 生徒にとって、課題発見・解決能力や論理的思考力を伸ばすようなSSH活動が行われている

